



大学発スタートアップ等促進ファンド契約締結及び出資について

東京都は、「未来を切り拓く 10x10x10 のイノベーションビジョン」を掲げ、グローバルに活躍するスタートアップの創出や、スタートアップの裾野拡大を目指しています。

その取組の一環として、知の拠点である大学や研究機関の集積を活かし、大学の優れた研究や研究開発型のディープテック企業の技術を社会に実装するための「大学発スタートアップ等促進ファンド」を創設し、スタートアップの成長や裾野拡大を促進していきます。

この度、令和 6 年 2 月 29 日付で運営事業者である東京大学協創プラットフォーム開発株式会社との間でファンド契約を締結、同年 3 月に都からの出資を完了し、ファンドとしての活動を開始しましたので、お知らせいたします。

1 本ファンドのコンセプト

● 大学 VC ファンドへの出資及び支援

大学を中心に豊富に存在している技術シーズを掘り起こし、事業化を支援し、グローバルに展開できるスタートアップを育成・支援するため、主として大学発スタートアップに投資・支援する大学 VC ファンド等に出資（ファンド・オブ・ファンズ）を行います。さらに、運営事業者が培ってきたディープテック・スタートアップの育成・支援、投資のノウハウを活用しながら、投資対象の発掘を幅広く支援します。

● 大学発スタートアップ等への投資の呼び込み

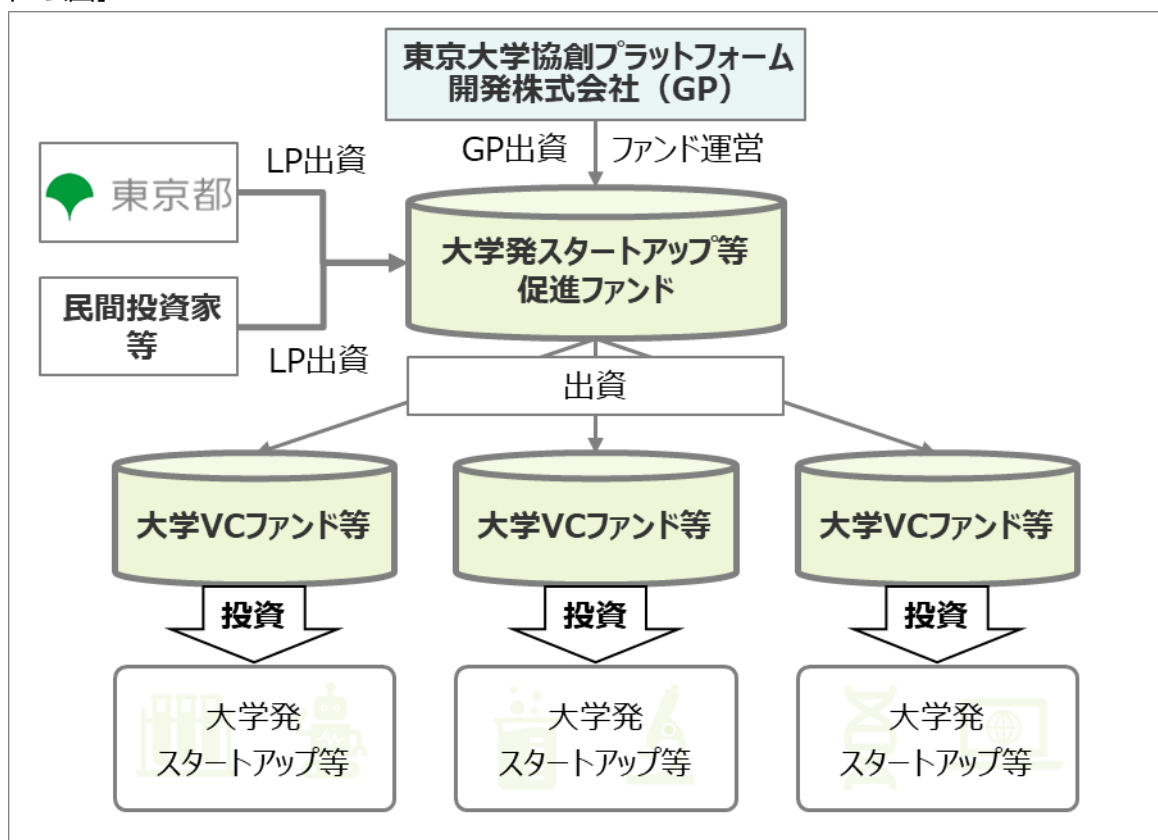
ファンド・オブ・ファンズによる大学発スタートアップへの投資や、ディープテック・スタートアップを支援する新興 VC の組成支援・育成を通じて、研究開発型スタートアップへの大きな資金の流れを創り出し、その成長を促していきます。

2 ファンドの概要

フ ァ ン ド 名	大学発スタートアップ等促進ファンド投資事業有限責任組合
運 営 事 業 者	東京大学協創プラットフォーム開発株式会社（略称：東大 IPC）
組 合 設 立 日	令和 6 年 2 月 29 日
投 資 対 象	大学発スタートアップへ投資するベンチャーキャピタルファンドやディープテック領域を中心としたスタートアップへ投資する VC ファンドを対象
組合存続期間	15 年間（2 年を限度として延長可）
都の出資規模	50 億円

なお、本ファンドには東京都のほか、ファーストクローズで東急不動産株式会社が投資家として参画します。また、国立大学法人東京大学からの出資も予定されております。さらに、今後ファンド規模 100 億円を目指し、他の投資家も参画予定です。

【スキーム図】



本件に係る運営事業者のプレスリリースは以下リンクからご覧いただけます。

URL : <https://www.utokyo-ipc.co.jp/news/2024/04/asa1fund>



本件は、「『未来の東京』戦略」を推進する事業です。

「戦略 11 スタートアップ都市・東京戦略」

【問い合わせ先】

スタートアップ・国際金融都市戦略室
戦略推進部 戦略事業推進課

電話 03-5000-7005

Eメール S1130103 (at) section.metro.tokyo.jp

迷惑メール対策のため、メールアドレスの表記を一部変更しております。お手数ですが、メール送信の際は (at) を@に置き換えてご利用ください。